

1. 経営発達支援事業

* 目標達成度 A:100%以上、B:80～99%、C:50～79%、D:30～49%、E:30%未満

* ●:国の補助金(伴走型小規模事業者支援推進事業)

項目	実施事業	事業内容	本年度目標 ^a	実績(4月～3月) ^b	目標達成度(b/a)	外部評価	実績の内訳	自己評価
I 地域の 経済動 向調査	①「小規模企業景気動向調査」の実施	○対象:5業種(製造業、建設業、小売・卸業、サービス業) ○調査方法:毎月巡回 ○調査内容:対前年同月比「売上額」、「仕入単価」、「採算」、「資金繰り」、「業界の業況」の5項目について調査し、整理・分析を行う。	12回	12回	A	目標どおり実行され公表されており、事業者の活用が期待できる。	①「小規模企業景気動向調査」 ○調査結果の報告 ・県商工会連合会で県内各商工会から報告した結果をまとめた月単位での「小規模企業景気動向調査報告書」を発行 ・森町商工会会員への周知(商工会HP) ・その後の経営計画書作成等支援への活用	1.「小規模企業景気動向調査」 ・管内小規模事業者の景気の動向を行い現状把握に務めると共に、県商工会連合会が集計した静岡県下の景況DIIについて、森町商工会ホームページに掲載し、周知した。 ・新型コロナウイルスに係る支援メニューの情報提供につなげた。
	②「他の支援機関が公表する景気動向調査」の活用	○機関:日本政策金融公庫 ○調査:景況レポート(四半期ごと)	4回	4回	A	今後地域特性を踏まえた分析が加わることが望まれる。	②「他の支援機関が公表する景気動向調査」 ・上記調査と合わせ、その後の経営計画書作成等支援への活用	2.「他の支援機関が公表する景気動向調査」 ・管内の小規模動向のみならず、マクロ的な情報としての経営計画書策定等に役立てた。
II 経営状 況の分 析	①対象者の掘り起こし	○経営状況の分析の必要な小規模事業者を抽出。	40社	40社	A	事業計画を策定した事業者数を実績としているが、実際にはより多くの事業者数になると推測される。実績の把握方法の検討が望まれる。	①対象者の掘り起こし 巡回等を通し、小規模事業者持続化補助金申請を希望する22事業者及び経営力向上事業費補助金申請を希望する11事業者を選定した。 加えて、経営計画書作成セミナー開催に合わせ7事業者の掘り起こしに努めた。 ②経営状況の分析 上記補助金を希望する事業者を対象に定量及び定性分析を実施した。	・意欲的、前向きな事業者を掘り起こすことができた。
	②経営状況の分析	○定量分析(税務)や定性分析(SWOT)等による分析。	30社	40社	A			
III 事業計 画策定 支援	①事業計画の策定支援	●既存事業者を対象に事業計画の策定を支援する。	事業計画策定数 25人	事業計画策定数 40人	A	目標を大きく上回り、各種補助金において高い採択率が得られていることは高く評価できる。	●事業計画策定 上記40社のうち33事業者の事業計画書の作成支援を実施した。 また、「経営計画書作成セミナー及び個別相談会」を開催し、7名の実行支援を行った。 「経営計画書作成セミナー」 日時:3年1月26日、2月2日、2月9日の3回 場所:森町商工会館 2階 大会議室 講師:中小企業診断士 飯塚淳氏 受講:7人 「個別相談会」 日時:3年2月5日、12日、19日の3回 場所:森町商工会館 2階 青年部研修室 講師:中小企業診断士 飯塚淳氏 受講:延べ16人	・掘り起こしを行った33事業者では、小規模事業者持続化補助金22人、経営力向上事業費補助金11人の申請にこぎつけた。 その結果、小規模事業者持続化補助金では18人が採択され、経営力向上事業費補助金では10人が採択された。 ・経営計画書作成セミナーでは、受講者7名のうち初めて経営状況の分析を行う者が5名受講し、新規の掘り起こしにつながったとともに、事業計画策定ノウハウの取得機会につながった。
		●創業を目指す者、創業間もない者を対象に事業計画の策定を支援する。	創業計画策定数 10人	創業計画策定数 15人	A	コロナ禍でありながらも、目標を上回ることができた。記帳や経理等の実務的なフォローも実施されている点も高く評価できる。	●近隣商工団体との広域連携「創業塾」 実施日:2年10月28日、11月4日、11日、18日、25日の5回でいずれも19時から21時 会場:ワークピア磐田 主催:磐田市、浅羽町、森町の3商工会 受講者:13名(森町1名) 講師:中小企業診断士 五島宏明氏 ●個別相談会 (1)実施日(会場:森町商工会) ①2年11月28日(土)10時～12時 相談者:2名(創業間もない者) ②3年1月30日(土)10時～12時 相談者:1名(創業間もない者) (2)広報 ①新聞折り込み、集合チラシ (3)個別相談会以外 相談者:4名(創業希望者2名、間もない者2名)	・中遠地域において、創業を検討している者や創業間もない者を集約して総合講座を開催することで、効率的・効果的に支援を図ることができた。 ・受講者にとっても、創業に必要な基礎知識の取得とともに、必要なビジネスプランの作成方法を具体的に学べる機会として、5日間という密度の濃い講座の受講に加え、個別相談会(2回)を通しフォローアップの機会として、起業・創業がより現実化したものと思われる。 ・単独開催の個別相談会では、開業に伴う記帳・税務の知識・事務処理方法や労働保険制度等を説明し、相談者の理解を深めた。 ・创业者の掘り起こしとして町内全域に広報が行き渡るよう折り込みチラシにより町内満遍なく行き渡るよう周知・募集を図った。

項目	実施事業	事業内容	本年度目標 ^a	実績(4月～3月) ^b	目標達成度(b/a)	外部評価	実績の内訳	自己評価
IV 事業計画策定後の支援	③事業計画策定後の支援	○既存事業者向けフォローアップ	25社	27名	A	補助金採択事業者を中心に目標を上回っているが、今後は不採択事業者も含めたフォローアップも望まれる。	○事業計画の策定につなげ補助金採択を受けた以下の者を対象に実施中。 ①小規模事業者持続化補助金(17社) 松浦製茶(株)、(有)石田茶店、木ごころ工房、朝日製粉、安間製茶(株)、村澤建築(株)、(有)鈴精機、地盤計測(株)、久松、(株)石川園、(有)太田茶店、Pastorale、中島屋(株)、(株)マルジョウ山口園、旭自動車、刺織 f r a g o l a、合同会社にんたま ②経営力向上事業費補助金(10社) nomoi、(有)エムデー、スツィラップス、大沼建設(株)、地盤計測(株)、(株)石川園、田米陶房、旭自動車、(株)八幡屋茶舗、村澤建築(株)	・事業の進捗状況等を把握するため事業者に応じフォローアップを図っている。 ・トピック 「ミラサポplus支援事例」として持続化補助金、ものづくり補助金等の申請事例として、商工会などの支援を受けながら申請した事例に「にんたま」さんが推薦され2月10日に取材を受けた。
		●創業を目指す者、創業間もない者向けフォローアップ	15人	5人	D	研修会は、創業後に必要となる記帳や税務の知識を補充できる機会の提供であり開催の意義は大きい。創業者が不安を感じやすい実務的なスキルアップ支援であり目標達成が期待される。	●創業塾等フォローアップ研修会 開催日：3年2月15日 13時30分から15時30分 テーマ：記帳・税務を体系的に学ぼう 講師：税理士 堤加奈子氏 受講者：5名 ●上記研修会受講者のうち、令和3年1月より開業にこぎ着けた者2名。それ以外は開業間もない者で事業計画の策定や確定申告に向けた支援を実施中。	・創業塾等を補完することを狙いにフォローアップ研修会を開催し、創業に必要な記帳税務を体系的に学ぶ機会につながった。
V に新たな与する要事開業拓	①販売機会情報提供と出店支援	○販路開拓支援のための県内外での展示会や販売会などの情報提供、出展支援	40社	延べ11社	E	目標を大きく下回ったが、コロナ禍で催事の縮小や中止が相次ぎ、やむを得ない側面があった。コロナ収束後は一部の事業者に限らず、なるべく多くの事業者の参画が得られるよう努めるべきである。	○県連販路開拓支援事業 2件 (石田茶店、松浦製茶) ○県連チャレンジショップ出品 6件 (中島屋、花ぎょうざ、中島屋、にんたまレッカーントフカワ、おさだ製茶) ○販売促進応援事業 3件(予定) (松浦製茶、石田茶店、鈴精機)	・県連販路開拓支援事業を活用し販路開拓への支援を講じると共に静岡伊勢丹のチャレンジショップ(県連運営)に6件が出品した。また、県内外で開催される催事等へ出展した事業者の係る経費の一部を助成。 ・新型コロナウイルスの影響により森町産業祭等イベントが中止となり、支援数が大幅に下回った。

2. 地域の活性化に資する取り組み

I 地域経済活性化に資する取り組み	①地域経済の活性化に資する取り組み	①森町創業者支援会議への出席	年2回	1回	C	目標の未達は会議開催自体が1回に減ったことに困っている。	・開催日：3年3月22日(月)10時～11時 ・会場：森町町民生活センター講義室B ・出席者：森町役場産業課 藤川氏、平野氏 遠州中央農協 鈴木氏、野末氏 中村氏、静岡銀行山梨支店 長谷川氏 浜松磐田信用金庫 寺田氏 静岡県新表保証協会 岡本氏 日本政策金融公庫 石山氏 合計9名 ・内容 「令和2年度創業支援進捗報告」	○令和2年度森町商工会が取り組んだ創業支援に対する支援事例9件を報告。 ○本事業で求める「特定創業支援」には至らなかったが9件のうち創業につなげた者3名を披露した。(篠田、鈴木 連沼)
		②「遠州森町次郎柿ワイン」ブランド化事業	会議の開催2回	会議の開催2回	A	予定通り開催され、目標どおり2回とも出席されている。「遠州森町次郎柿ワイン」は売れ行き好調とのことであり、さらなる生産拡大と販路開拓が期待される。	○製造販売20年を記念し、ラベルを一新。令和2年産で製造販売21年目を迎えた。 ○完成を祝う式典として、完成祝賀式と名称を変え関係者約30名を迎え小國神社にて開催。 ○製造本数も昨年同様約2,100本で、町内15の酒販店にて12月24日より一斉発売した。	○完成発表会をそれまでの会場から小國神社に舞台を移し、新生活様式にも対応した趣向とした。 ○テレビ局1社の取材もあり、町内外へ大きなアピールにつながった。 ○大口注文先の中には、1月末時点で約7割販売しているところのほか、既に完売した酒販店もあるなど昨年に引き続き好調である。

項目	実施事業	事業内容	本年度目標 ^a	実績 (4月～3月) ^b	目標達成度 (b/a)	外部評価	実績の内訳	自己評価
3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援能力向上のための取り組み								
II 経営指導員等の 資質向上等に関する こと	② 森町商工会が小規模事業者の期待に応える経営発達支援事業を行うため職員教育研修を実施する。	●スキルアップ研修	回数：2回	回数：2回	A	職場内研修が計画通り実施され、職員間の情報共有化とスキルアップが図られている。	<ul style="list-style-type: none"> ●職場内研修 ①1回目 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：2年10月5日 ・講師：中小企業診断士 北川裕章氏 ・受講者：職員4名 ・内容 「感染症対策を盛り込んだBCPについて」 ①2回目 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：3年2月16日 ・講師：中小企業診断士 北川裕章氏 ・受講者：職員4名 ・内容 「小規模事業者向け 国の新しい施策について」 	<ul style="list-style-type: none"> ・現職員は8人(正規6名・正規以外2名)で、正規職員のうち経験年数5年以内が3名である。基礎的経営改善普及事業に加え、新しい施策等を知る機会として知識の取得を図る機会につながった。 ・また、本研修会以外に県連のスーパーバイザー派遣事業を活用し、横田経営指導員、大澤経営支援員、長谷川情報経理相談員3名の基礎的経営改善普及事業のスキルアップを図った。
		○支援ノウハウ共有 ①職員ミーティングの開催 ②データの一元管理	—	—	—	—	今後も継続して実施されることが期待される。	<ul style="list-style-type: none"> ①職員ミーティングの開催 毎週月曜日朝礼開催 ②データの一元管理 巡回データを月報として適宜供覧